

季刊誌「発達」(ミネルヴァ書房、171号)に、仙田考(日本支部代表)、渡辺英則(副代表)監修の
特集「子どもと屋外環境」が掲載されました！

乳幼児期の子どもの発達や、それを支える営みについての季刊専門誌「発達」171号(ミネルヴァ書房、2022年08月刊行)に、仙田考(日本支部代表)、渡辺英則(副代表)監修の特集1「子どもと屋外環境—主体的なあそび・学び・育ちを支える」が掲載されました。

コロナ渦において子どもたちの直接体験の場が急速に失われつつあるなか、特集1では、乳幼児期から学童期につながる、主体的なあそびや学び・育ちを支える屋外環境について、その意義や重要性、そこでの生き生きと自然とかわる子どもたちの姿の事例が各論稿の中で紹介されています。ぜひご覧ください！



「発達」171号(ミネルヴァ書房、2022年08月刊行)

特集1 子どもと屋外環境—主体的なあそび・学び・育ちを支える

- 保育・教育の屋外環境(園庭・校庭・まち)とそのかわりの重要性—
 - 乳幼児期から学童期の主体的なあそび・学び・育ちを支える(仙田 考)
- 「ツクル×アソブ×イノチ」と出会える場所—子どもたちが過ごす場所に必要なこと(宮里暁美)
- 主体的な遊びや探究を支える屋外の環境構成の取り組み—
 - 屋上テラス園庭での実践における子どもの遊びと保育者の変容(松山洋平)
- 保育の場における自然環境—身近な生き物との出会いから(亀ヶ谷元譲)
- 思いをもって遊び込む幼児を育む—屋外の自然や地域社会と関わりながら(笹山雅司)
- まちを知り、まちを創る探究活動—屋上での養蜂活動の継続事例から(鈴木暁範)
- 小学校教育とのつながりを、幼児教育の屋外環境を見直すことから考える(渡邊英則)

HP: <https://www.minervashobo.co.jp/book/b607637.html>